

2020年5月12日

推薦銃所持会員の皆様

公益社団法人日本ライフル射撃協会
推薦委員長 大野明敏

大会中止状況下の推薦業務について

冠省 本年3月から大会の中止が続き、推薦に係る参加実績回数が不足するなど影響を及ぼしています。推薦委員会としてはこの状況を勘案し推薦審査を致します。なお、推薦に関する問い合わせは加盟団体へお願いします。

<ライフル銃の所持許可更新する方へ>

更新者は技能講習を受けることが本来の手続きです。

技能講習免除推薦は年2回以上、3年で6回以上の参加実績を必要としますが、回数不足の免除基準に該当しない場合は技能講習を受けてください。

よろしくをお願いします。

現在、教習射撃と技能講習は閉鎖中の射撃場でも実施していると聞いています。

<空気けん銃の再推薦申請する方へ>

推薦の審査は年間2回以上、2年間で4回以上の大会出場、規定の段位取得、基準点クリアの3項目ですが、半年間大会がない状況を考慮し技能講習などが無い空気けん銃の再推薦について1回不足する場合は審査対象とします。

時間的な余裕を持って申請してください。※段級・競技得点等の要件も不足している場合不承認となる可能性もあります

<申請書類不備不足がある場合>

最近、申請書類の不足や違った書類添付などの不備が散見されます。

事務局勤務でないこの時期は、通常業務も時間を要していますので追加作業が必要なものは次回の推薦委員会審査になります

不備不足の無いようご注意ください。

<推薦委員会の予定>

オリンピックが本年7月には開催されないので、来年3月を休会として今年の7月は30日の木曜日に推薦委員会を実施します。

不一